

大角少将

大正十二年九月七日

海軍震災救護委員會總務科

震災總務通報第一號

一 軍令部參謀小柳海軍少佐及同細萱海軍少佐
 八 関東戒嚴司令部并被仰付専ら同司令部下海
 軍との連絡に任じらるるに付ハ戒嚴司令部下の交
 渉事項ハ上記兩官ヲ分スルコトニ取計ハレ度

二 當科委員下村海軍少佐部外發表ノ震災救
 護情報編纂檢査付資料蒐集ニ格別ノ
 便宜ヲ講ハレ度又必要ト認メラルル決員料ハ進ニテ同
 官ニ送付方取計ハレ度

(終)

(未)

0809

軍務局

霞空隊日令第百九號

大正十二年九月七日

霞空隊浦海軍航空隊司令田尻唯二

左記方策ニ依リ水上機ノ横須賀芝浦間ノ定期飛行ヲ實施ス

左記

横須賀芝浦間水上機定期飛行實施方安未

(一) 期間

九月七日以降當分ノ内

(二) 使用機

水上機二機

(三) 浦列

0810

一 番機

加藤中尉 (指揮官)

二 番機

早川二曹

秋元三曹
坂下三曹

(四)

基地及作業員

基地

作業員

横須賀海軍航空隊

横須賀航空隊 派遣員一部

芝浦

下士官一兵二

(五) 實施要領

九月七日午前十一時加藤中尉、水上機二機ヲ卒ヒテ

赤坂ヶ浦ヲ出發シ芝浦ニ到リ海軍省派遣隊指揮官、指揮官、指揮官下ニ入

出發シ横須賀芝浦間、定期飛行ニ従事ス

モトス

(終)

航部第 五

連絡飛行演習取止ノ件通牒

大正十六年九月八日

陸軍航空部本部長 安満 欽一

海軍少将 坂

九月四日ヨリ實施ノ豫定ナル連絡飛行演習ハ東京附近震災ノ關係上取止メラレ候條及通牒候也

本件ハ航空部ト佐鏡ト直接交渉ニ特ヒアリ、当方ヨリ別
佐鏡ニ指示ノ必要ナシ

0812

軍務局

霞空隊日令第五一號

大正十二年九月八日

霞ヶ浦海軍航空隊司令田尻唯二

軍務局
三九六

軍務局

第一果

左記方案ニ依リ當隊横須賀關定期飛行ヲ實施ス

定期飛行實施方案

目的
當隊横須賀關通信連絡

二期間

大正十二年九月九日ヨリ當分間

編成及使用
使用飛行機數

左記編成ニ依リ毎月アヲ口陸上練習機ニ其ヲ使用ス

一組

一 番機

操縦者

上野大尉

大尉

二組

一 番機

杉本大尉

大尉

三組

一 番機

高松中尉

中尉

0813

四組

二番機 操縦者 日名子 二曹
 一番機 石川 三中尉
 二番機 曹

(同乗者各機共發動機長トス)

四地上指揮官及作業員

霞ヶ浦指揮官 室井大尉
 同 陸上練習機班員
 作業員 戸五講習員
 横須賀作業員

五實施要領

一天候差支ナク毎日番號順序ニ組充テ以テ霞ヶ浦ヨリ
 横須賀ニ至ル往復飛行ヲサレム
 一霞ヶ浦出發 午前八時 横須賀出發 午前十一時
 一横須賀於テ天候不良ノ為ニ出發ヲ中止セル場合ハ翌朝
 午前八時出發歸隊スルモノトス此ノ場合ハ特ニ必要アルアラ
 サレ霞ヶ浦ヨリ出發セシラス

霞空隊日令第四七號ハ之ヲ廢ス

(終)

軍務局

第二課

海

軍

模造半葉十三行部紙

一九一九

航空隊：因之情報世立

一、露浦航空隊ヨリア、ク、水、上、練習板ニ台、忘接、為、横

須、噴、航空隊ニ、遊、遊、ス、

二、露浦航空隊陸戰隊ニ、昨、日、船、橋、無、航空電信所

ヨリ、帰、隊、今、方、面、軍、状、ヲ、認、メ、ス、

三、英國、北、行、隊、ノ、消、息、

横須賀航空隊ニ、艦、隊、中、ノ、廿、七、日、無、常、良、夫、人

ハ、予、テ、音、信、無、ク、地、震、為、運、子、ヨリ、横、須、賀、方

面、ニ、歩、行、シ、タ、為、重、態、ト、ナリ、恢、復、費、束、ヤ、シ、ト、

露浦ニ、花、ノ、ラ、ン、ド、モ、ア、中、路、夫、人、地、震、前、ヨリ、完、強、シ

（蓋井明）

0815

海軍

横濱平樂下三行算紙

尾尾力地震の一層病を激シクナリ不図今申付
ニ依り災一軒地腐巻ヲ行ハシム事也

高井納

0816

連絡ニ任セル飛行機事故

第五十三號 九月八日 関東戒嚴司令部發表

各務ヲ原東京間連絡飛行ニ任セル飛行第一大隊
王兵曹長小沼次郎ハ甲式三型一〇四二號ヲ操縦
シ九月八日午後二時三方ヶ原ヨリ三島練兵場ニ着陸
ノ際重傷ヲ受ケ生命危篤ナリ

但シ塔載セル移送物ハ四ノ宮大尉之ヲ中継飛行機
ニ轉載シ午後二時十五分出發東京ニ到着セリ。

0817

第千四號

九月九日

関東戒嚴司令部發表

永代橋開通

永代橋八日築用宜自動車ノ通過ニ支障ナク如ク
修理ヲ了セリ

高岡國橋一柳島一五之橋一逢井橋道ヲ至テ

少松川ニ至ル道路ハ自動車ノ通過自五ナリ

又小名木川航路開通作業ハ工兵第十三大隊ノ手

依リ八日午後五時完成セリ。

(第一師團報告)

0818

Kasumigaoka.

9.9.23

My dear Obzecki,

I was very
glad to see from your
memo to the Admiral that
Ponckley is on board the
President Jefferson. I see
he says he is proceeding to
England unless he receives
instructions to return. I am
wondering what you
are going to reply.

W^B. Satchell is reported to be
much better. The medical
authorities, in fact all your

0819

people at Yokohama
have been kindness itself
to them. I can assure you
that it is very much appreciated
by us all, especially at a
time when you are all full
of worries & anxieties.

I have written Prince
1st Secretary at the Embassy,
asking to arrange for 2
copies of the leaflets of
News now being published
in Tokyo, to be sent to
the Kaijima for me. If

they turn
kindly
to be seen
here. -

Hope
well &
from us
4

P.S. Please
the enclosure
Prices -

0820

~~the~~
~~itself~~
me
ack appreciated
at a
all full
is
Prich,
Embassy,
for 2
lets 1
published
at 5
e. of

they turn up could you
kindly arrange for them
to be sent on to me
here. -

Hope you are all
well with kind regards
from us both.

Yours sincerely
Hugh Redford

P.S. would you mind having
the enclosed sent on to
Prich -

0820

0821

五九六

大正十二年九月十二日

市川横濱海軍航空隊副長

原海軍省軍務局々員殿

横須賀東京間定期飛行停止ノ件

先日來施行中ノ定期飛行(横須賀東京間)在記
理由ニヨリ本日ヲ最取終トシテ廢止シ芝浦飛行基地
ヲ撤棄致度候條衛同意相成度
右照會ス

詔

一最早必要ヲ認メス

0822

三、不要トナルル時機ニ於テ機敏ニ引上ケ目下和意
ニナラントシツツ又候滑キ台シ撤ニ他ノ作事
傳ル方却テ機宜ノ知置ナリト信ス

一終

0823

軍 〇九八

大正十二年九月十二日

軍務局長

高橋海軍機務司令官宛

後附走台ノ件

介般横須賀芝浦間、飛行定期、取上メト可相成

ニ付テハ、其陣後附走台、其位貴部、凡テ使用サ

レ度

本依命申進ス

追而右引度（南）横須賀組艦隊芝浦基地指揮

官ヲ直接貴官ニ可申出候

芝浦基地指揮官ニ付テハ、其位貴部ニ付テハ、

海軍

機務局長十二行書紙

(納堂本殿)

0824

軍務局

第一課

海軍

横濱航空隊

一三九一三

松本

航空隊ニ關スル情報 其ノ五

一 横須賀海軍航空隊

飛行隊現狀 (大正十三年九月十日調)

一 操縦者

所及横廠 士官五

横廠 下士一 兵二

別ニ依テ練習生教員ニ

一 飛行機

横廠式

長距離差支十キモノ一

練習飛行差支十キモノ三

(宮井納)

0825

一 所 飛 行 艇

長 距 離 差 支 十 七 五 一

練 習 飛 行 差 支 十 七 五 一

海

軍

横 造 中 葉 下 三 行 部 紙

(蓋 井 納)

0826

軍務局

大正十三年九月九日

霞ヶ浦海軍航空隊司令田尻唯三

海軍省副官 藤田尚徳殿

別紙寫通、堤海軍少佐ニ副令致置候条可

然、了取抄付候

右通知ス

(別紙ニ添付)

(終)

(封)

(印)

(系)

(封)

(符)

(印)

海軍

0827



大正十二年九月九日

霞ヶ浦海軍航空隊司令田尻唯二

提海軍少佐ニ與フル訓令

貴官ハ海軍少官副官ノ指示ヲ受ケ霞空
隊日令第五二號ノ目的ヲ遂行スヘシ

(終)

0828

軍務局

霞空隊日令第五二號

大正十二年九月九日

霞浦海軍航空隊司令田尻唯二

左記ニ依リ霞ヶ浦海軍航空隊派遣隊ヲ海軍省ニ派遣ス

目的

海軍省ニ至リ東京震災ノ救護任務ヲ遂行スルニアリ

二編制

指揮官

指揮官附

全右

兵曹一名 信号兵一名 看護兵一名

海軍少佐 堤 政夫
海軍大尉 長谷川 喜甚一

隊名	隊長	補佐官	下士官	兵
自動車隊	大尉 阿部 眞一	特少尉 定行 實	二	二四
衛兵隊	中尉 藤松 辰次		九	四二
給與隊	中尉 榎長 高登 喜治			七
作業隊	大尉 小野 虎太郎	機曹長 井村 久吉郎	主曹 一	七
			兵曹 一	三
			船長 一	三

0829

三隊装

通常隊装（銃器ヲ除ク）
口携行品

事業服 一着
軍装 一着
下衣 一着
其他日用品
食糧 二食分

中継地連絡兵				兵曹	一	兵	二
合計	士官	六	梅少尉	一	准士官	一	八
							三

(終)

0830

軍

霞空隊目令第53號

大正十二年九月九日

霞浦海軍航空隊司令田尻唯二

一 左記ニ依リ安房上總下總沿岸霞突状況偵察飛行ヲ実施

一 編制

偵察隊指揮官

室井大尉

隊別	使用機	指揮官	搭乗者
甲隊	偵察機一機	坂元大尉	坂元大尉 大橋中尉 谷本大尉 野田中尉
乙隊	偵察機一機	菊地中尉	山本中尉 秋山二曹 菊地中尉

二 發動時日

大正十二年九月十日午前八時

三 偵察区分

甲隊 千葉県長生郡一宮町より南下シ野島崎ヲ経テ船橋ニ

至ル迄ニ

乙隊 千葉県長生郡一宮町より北上シ銚子町ニ至ル迄ニ



0831

偵察ハ視察ニヨリ外至要ナル損害個所ハ出来得ル限リ寫眞
撮影ヲ行フモノトス

(終)

0832

陸軍第五十九師

大正十二年九月八日

齊

市山 陸軍少佐 陸軍隊副長

原海軍省軍務局之負殿

横須賀芝浦間定期飛行件

本有ヨリ指令有之候趣ヲ以テ霞ヶ浦海軍航空隊所屬
飛行機二基本日米隊横須賀芝浦間定期飛行ニ任セ
シメラル、スト、相成候へ共南隊格納庫ハ右飛行機ヲ格納
スルノ余裕ヲ有セス又南隊其ノ後飛行機ノ整備ヲ急ギテ
機數増加シ為ニ機數ニ於テモ横須賀者數ニ於テモ右飛行

0833

九

ニ差支セ

仍予本者ヲ要テ海軍航空隊ヘ指令ハ取消サレ
相分テ

本日未着ノ全隊飛行機ハ一先ツ復帰セシメ
右依命依託ス

（終）

東京海軍航空隊

0834

九月六日

高橋伸造

一、所沢航空之始無事。

二、目下所沢にコウシヤの素材材料約一五立米あり。

毎々補充三百一四百立米、飛行機五五石一六百立米

三、目下休戦中、隊員の三十四立米未總數。

四、本隊十日以後、飛行機得見込。

五、目下隊員、格納庫其他散置或及瓦斯發生

作業者、從事セリ。

0835

寫

五八六 第二課

大正十二年九月十二日

須賀鎮守府司令官兼海軍少將須賀 雄殿

横須賀海軍工廠長須賀 清四郎

定期 飛行ノ件

横空第五八六號ヲ以テ御届致置候横須賀東京
間往復定期飛行ハ本日限廢止致候
右御届ス

(寫送分先 軍務局、教育局)

終

0836

軍務局

自働車現狀

大正一三、九、一四調

半紙中集下二行原紙

用途	乗用		貨物			乗用		種類
	ホード	ホード	ネピマ	起動車	探照燈用	ホード	ホード	
種類	ホード	ホード	ネピマ	起動車	探照燈用	ホード	ホード	種類
数	一	一	一	二	二	三	三	二
供給月日	九、一六	九、一六	九、一〇					
供給元	藤沼氏	中村正義	山田忠次郎	松方幸次郎			霞空隊	
記事	全	全	運転手附雇入	提供				
	右	右						

海軍

(謝堂 承 蔵)

0837

№ 2.

乗 用	貨 物	乗 合 用	乗 用	乗 用	乗 用	乗 用	貨 物	乗 用
デ ジ オ ン グ ラ イ ト ン	キ ャ ン ド ラ ー	ホ ー ド	乗 合 車	ハ ド ソ ン	ダ ッ チ	ダ ッ チ	キ ャ ン ド ラ ー	オ ー バ ラ ン ド
一	二	一	二	一	一	一	一	一
九、 九	九、 八		九、 七	九、 一、 三	九、 九		九、 五	九、 五
東京瓦斯電気		造 兵 廠	日本 乗合 自 働 車 會 社	日本 自 働 車 會 社	海 軍 省		セン ト ラ ル 自 働 車 會 社	小 宮 氏
購 入	購 入		雇 入、 運 転 手 附	全 右	購 入		購 入	雇 入、 運 転 手 附

海
軍

中
正
年
表
十
一
行
圖
紙

(納品不詳)

0838

No. 3

	乗用	貨物						乗用	リポ
	ベーカー	B型	T、G、E	B型	T、G、E	デネオン ブートン	クリムランド	ギンドラー	クリムランド
	一	一	二	二	三	一	一	二	一
		九、二	九、九	九、八	九、七		九、二	九、九	九、九
	軍令部				東京瓦斯 電気社				
		購入	購入	購入	購入	購入未納	購入	購入但一台未納	購入

海軍

半紙半葉十一行綴紙

(納品心紙)

0839

No. 4.

乗用車	二十二台
未納	二台
芝浦棧橋へ貸与	二台
農商務省へ貸与	一台
乗合用車	二台
貨物車	十五台
未納	一台

海軍

平氣中隊十一行署

0840

NO. 5

自働車運転員現狀		大正一三九一四調	
所屬	種類	員数	記事
霞空隊	機関兵及看護兵	二六	内市街運転ニ適セル者七名
横空隊	機関下及機関兵	五	市街運転ニ適セス
伊勢	機関兵	二	内一名ハ助手 一名ハ下等ノミ運轉
海軍省	専属運転士	五	
其他	雇入運転士	七	
市街運転可能ノモノ			七名
助手			一三名

半紙半製下、台紙製

0841

軍務局

第一課

號外

大正十二年九月十日

古川横須賀海軍航空隊司令

原海軍省軍務局へ復殿

傭聘外人收容ノ件

傭聘外人「サウキ」一ノ四名ハ去ル六日ヨリ弟隊ニ收容中「サウキ」
夫人ハ腹痛英ヲ併發シ重症ニシテ尚分動カシ難キ状態ニ
在リ、昼夜看護ヲ要スル為一ノ「アタム」区准士官モ帰還セシ
メ難シ

右通知ス

(終)

0842

大正二年九月七

日 午後四時十六分 大阪局發
日 午後五時五分 牛住局著

發信者在大阪監督官

受信者海軍省副官

電報譯

是段製鎖所ヨリ自働車一台運転手並ニ
油等一切携帶ノ上貴地ノ救難用ニ提供シ
夕中旨申出アリ送付スヘキヤ返

返

0843

軍務局

横須賀航空隊概況（九月六日謝）

軍務局 一 天

震災ハ附近ニ比シ損害ノ程度又窓戸少キ方ナリ

建築部 第一課

(イ) 全潰ニナシ

(ロ) 半潰

建築局

使用之堪ハサモノ第二兵舎三分ノミ 其他重要ナク
三ノハ 崩壊 當リ應急ノ使用ニハ先リ使用シ得

(ハ) 無破損

二 運搬路 全潰ニ等シ

三 滑走台 全潰ニ等シ 机上撤用ニ先リ應急

使用シ得

四 岸壁 総ニ屈曲ツリ下レリ陸上飛行場トノ間ノ

水路ノ兩岸ハ殆ト全部崩壊

12.9.14

0844

五、断崖崩壊 該所アリ第一がトリン庫（配電所附近）

ニシテ第二がトリン庫使用セラケル係上多量入庫（前

全没

六、航空機

破損甚多シ使用シ得シモノ在ノ如シ

(イ) 横敵式 三基（七由ニハ四基トナ）

(ロ) 下 五 二基（ハ由ニハ三基トナ）

但シ搬出ニハ二日附ヲ要スル見込

七、舟艇 全部無事

八、人員 軽傷三名

(終)

0845

軍第〇〇〇番

大正十年九月十七日 事務局長負

要室隊到長宛

派遣人員通報一件

今般名向部ニ通報、必要有之矣、左

記要領ニ依リ貴隊人員、海軍省派遣

人員、御通報相煩度

右照會ス

記

一三九一七

横濱市東区一丁目

(原 裁)

0846

月日	士官	下官	兵	目的	記
九一	大尉 何某	三	二	自衛車運	雲中捕獲 東系名
九二	中尉 何某			糧倉運搬	
九三				更代書	
九四				自衛車運	
九五				板任務移	東系名
九六					
九七					
九八					
九九					
一〇〇					

模範小隊下官昇次

海軍

(続原載)

0847

原少佐 啟

霞空第九號

大正十三年九月十四日

霞空浦海軍航空隊司令田尻唯二

横須賀鎮守府司令官野間口兼雄 啟

震災状況報告

九月一日ノ震災状況左ノ如シ

隊員並英飛行員ノ死傷ナシ

但シ「ブラッグリ」少佐九月六日汽船ニ横濱

ヨリ「ヴァンクーパー」ニ向テ出發 難之同下海

軍者ニ其供解備トニ進行中

0848

六 建造物

本部

各室 剝壁剝落

第二士官宿舎

屋根壁及窓硝子破損

飛行機格納庫

倉庫 側壁梁入口戸折屈曲

中央格納庫付屬工場

天窗硝子窓硝子側壁破損

湖岸設備

滑走基附近地盤亀裂

倉庫 運搬路陥没

配電盤室

屋根瓦大半脱落

寫真談室

コンクリート天井部分脱落

彈丸藥庫爆彈庫信發庫屋根壁破損

新無線電信室

地盤陥没全体ニ至

0849

之側壁大破損

其他病室各舍樓閣料倉庫白各舍現整潔
講堂) 壽硝子及壁壽二多少破損外異狀

十五

六兵器 需品

破損 七九 粟十九天

パンサー艦上偵察機 臺架其臺上予調整中

胴体中央約一呎破損修理使用可能

病室用硝子器械柵一甚大破損使用不堪

身体検査器具一何破損

四 陸士官以上並英飛行團員家族狀況

每頁

0850

					右報告ス	空隊病室ニ收容加療中	其ノ他 異状ナシ	横濱ニ死セ	林俊園中佐實兄少尉青山哲二郎實兄
--	--	--	--	--	------	------------	----------	-------	------------------

無

0851

号

海軍

海軍

一三九一四

海軍

模範小葉十一行部紙

大正十二年九月十四日原軍務局長

震害隊副長宛

震害被害状況一件

今田一震災之際に貴隊に被害状況通知
致意在条迄取調し上場回報し得致
右様会入

海

海軍

(四原 裁)

0852

軍務局

横須賀航空隊震災情况視察報告

大正十三年九月七日

教育局 丹羽大尉

一、人員

輕傷者三名
其他隊員家族中家倒壞又火災為避難中一部艦船便歸國セシ他ハ應急處置ヲ終レリ

二、建築物

大小破損全部ニ渡リ隊員ノ居住及F.5艦臺横廠式水上偵察機數台使用ニ差支ナキ程度ナリ、尚建築物ニ就テハ別圖説明如シ

三、作業

遂員ハ自下飛行機數台ヲ以テ東京横須賀間、連絡、鎌倉御在在中ノ殿下警衛隊内、整頓及附近村落ノ警備ニ任シ、尚飛行機ヲ以テ火害地ノ空中偵察寫真作製中

其他



0853

五、要スルニ建策物及飛行機運搬路ノ破損ニ依リ飛
 行作業実施上困難ノ虞多キモ此ノ際不便ヲ凌キ
 飛行機数台及航空船ノ作業実施上差支ナシ
 (註) 写真ハ高等官手渡トシテ別ニ田覽ス

0854

横須賀航空隊概況

大正十三年九月調査調

一、震災、附近ニ比シ損害ノ程度寧ロ少キ方ナリ

(1) 全潰 ナシ

使用ニ堪ヘサルモノ第三兵舎三分ノ二ニシテ其他重要ナルモノニテハナク差當リ應急ノ使用ニ先ツ使用シ得

(2) 無破損 ナシ

全潰ニ等シ

三、滑走台 全潰ニ等シ水上機用一台先ツ應急使用シ得

四、岸壁 総テ屈曲ツリ下レリ陸上飛行場トノ間水路、南岸ハ殆ロ全部崩壊

五、断崖崩壊 諸所ニテ第一ガソリン庫(配電所附近)ニシテ第二ガソリン庫使用セサル關係上多量

六、航空機 破損セルモノ多シ使用シ得ルモノ左ノ如シ

(4) 積機 敵 三基(七〇六、四基トナリ)

八七
人舟

員艇 出(ロ) 搬 出 5
軽全 出ニハ二日間ヲ要スル見込
傷部無事 基(八日) 基(十九)

(4/2)

0856



横須賀海軍航空隊設備圖
 (註) 地上飛行場、機庫、倉庫、芝格納庫、芝一、二、三、四、五格納庫、芝六格納庫、芝七格納庫、芝八格納庫、芝九格納庫、芝十格納庫、芝十一格納庫、芝十二格納庫、芝十三格納庫、芝十四格納庫、芝十五格納庫、芝十六格納庫、芝十七格納庫、芝十八格納庫、芝十九格納庫、芝二十格納庫、芝二十一格納庫、芝二十二格納庫、芝二十三格納庫、芝二十四格納庫、芝二十五格納庫、芝二十六格納庫、芝二十七格納庫、芝二十八格納庫、芝二十九格納庫、芝三十格納庫、芝三十一格納庫、芝三十二格納庫、芝三十三格納庫、芝三十四格納庫、芝三十五格納庫、芝三十六格納庫、芝三十七格納庫、芝三十八格納庫、芝三十九格納庫、芝四十格納庫、芝四十一格納庫、芝四十二格納庫、芝四十三格納庫、芝四十四格納庫、芝四十五格納庫、芝四十六格納庫、芝四十七格納庫、芝四十八格納庫、芝四十九格納庫、芝五十格納庫、芝五十一格納庫、芝五十二格納庫、芝五十三格納庫、芝五十四格納庫、芝五十五格納庫、芝五十六格納庫、芝五十七格納庫、芝五十八格納庫、芝五十九格納庫、芝六十格納庫、芝六十一格納庫、芝六十二格納庫、芝六十三格納庫、芝六十四格納庫、芝六十五格納庫、芝六十六格納庫、芝六十七格納庫、芝六十八格納庫、芝六十九格納庫、芝七十格納庫、芝七十一格納庫、芝七十二格納庫、芝七十三格納庫、芝七十四格納庫、芝七十五格納庫、芝七十六格納庫、芝七十七格納庫、芝七十八格納庫、芝七十九格納庫、芝八十格納庫、芝八十一格納庫、芝八十二格納庫、芝八十三格納庫、芝八十四格納庫、芝八十五格納庫、芝八十六格納庫、芝八十七格納庫、芝八十八格納庫、芝八十九格納庫、芝九十格納庫、芝九十一格納庫、芝九十二格納庫、芝九十三格納庫、芝九十四格納庫、芝九十五格納庫、芝九十六格納庫、芝九十七格納庫、芝九十八格納庫、芝九十九格納庫、芝百格納庫。

(縮尺千分百五十九)

沼澤及全部地盤割目にて使用し得